

# 知的障害 定義

知的障害は、知的機能と適応行動の両方が著しく限られていることを特徴としています。しかし、この制限は22歳になる以前に発生することが前提となります。

**知的機能** 知的機能は「知能」としても知られています。これは、学習、推測や課題解決などのいくつかのスキルを含む知的能力のことです。知的能力を測る一つの方法として、知能検査を行うことが挙げられます。



**適応行動** 適応行動とは、人々が毎日の生活の中で、学習し行っている総合的なスキルことを指しています。

- 概念のスキル - 言語や読み書きの能力、時間や数字の概念、そして自己指導を含む。
  - ソーシャル・スキル - 対人関係のスキル、社会責任、自己評価、だまされてしまう傾向、素朴さ、社会的な課題解決や虐待などから犠牲になるようなことから避けたり、規則や法律を守る能力を含む。
  - 実践的なスキル - 日常生活の活動、仕事に関わるスキル、健康管理、旅行・交通機関、スケジュール・手順、安全、お金の管理、電話の使い方を含む。
- 標準化された検査を使い、上記のスキルを評価したり、必要なサポートを見つけたりします。



## 発症の年齢

障害の症状は、発達段階で現れます。多くの国で、22歳以前とされています。



## 他に考慮する事

知的障害を定義または検査するときに、地域環境や文化といった他の要素を考慮する事が大事です。専門家は、言語の多様性や文化の違いにより、人々が会話し動き、ふるまいの仕方が異なる事を理解する必要があります。さらに、人々の限度と長所は共存していることや、個人に合わせた適切なサポートが長期間に提供される時、生活の機能は向上する事を検査を行うにあたり推測してなくてはいけません。このような検査の過程が理解される時、専門家は個人が知的障害を持っているかどうか判断でき、良い結果を出すための個人に合わせたサポート計画を作ることができるのです。

